飯田 OIDE 長姫高等学校同窓会

第 1 号

発 行 所 長野県飯田 OIDE 長姫高等学校 同 窓 長中島五月 発 行 人 無疑疑 久保田 和 平 印 刷 三晃印刷株式会社

飯田〇一DE長姫高等学校 同窓会長

島

五

月

た中島 しまし

度会長

れて、 す事を嘱望しております。 の皆様のお力添えを頂き、 さを感じております。 五月でございます。 大役を仰せつかり責任の重 いう県下一大きな同窓会の 一千人、卒業生三万人余と 日も早く支部統合がなさ 早いもので飯田OIDE 活動が軌道に乗りま 生徒数

たれるところです。 生徒の活動も徐々に統合

す。

てこられました伝統を継承

ます。

早急な経済の建て直

直しが待

くねじれ状態から脱却して

期待されます。 数多く出てきており、 ミントン(定)、剣道部(定) が届く頃には嬉しい便りも 全国制覇、 て、工夫を凝らした文化祭 の成果が現れて参りまし 桜姫祭) 全国大会出場クラブが 商業研究部、 や、 野球部の夏の活 エコカーの 女子バド

りたくお願い申し上 りも会員の皆様が「中庸 様のご理解とご努力は心強 両校の支部役員、 けて参りたいと思います。 良かった」と云える教育環 力強いご指導とご協力を賜 を胸に親睦を深めて頂き、 てもできる限りの支援を続 境が整うよう、同窓会とし 校を目指して、「統合して 限りでありますが、 ものづくりの拠点校とし 全国のモデルとなる高 代表の皆 一げま 何よ

ます。

今年は遅霜の被害や

ら半年が過ぎようとしてい 長姫高等学校が開校してか

外共に不安定な状況の中に

記録的な猛暑が続き、

国内

ありまして、

国会もようや

飯田〇一DE長姫高等学校 学校長 田 修

身



で母校 これま 様には、 会の皆

賜り、ありがたく篤くお礼 申し上げます。 励のため、 の教育の振興と在校生の激 特段のご支援を

尽力下さることは、教職員 母校の支援体制づくりにご 卒業生の社会的活躍は勿論 れました歴史や、 ます。それぞれ培ってこら を図りながら、後輩が学ぶ のこと、同窓生相互の親睦 化を受けるものであります。 依存度が大きく、無言の感 ましては、在校生の精神的 を表します。 るという英断を下されまし たことに、あらためて敬意 とに伴い、同窓会も統合す 一同の心からの願いであり さて、学校が統合するこ 同窓会に対し 大切にし

> あり、 して、 して何よりも力強い支えで ぶ同窓生は、 同窓会が出発しまし 両校で約三万人に及 心強く思っておりま 本校にとりま

す。 努力して参る所存であり 形を変えても皆様にとって 乗り越えて行かれた同窓生 した。 遷を経ながら現在に至りま の皆様の気概を大切にし、 「心のふるさと」と成るべ 両校はこれまで幾多の 学校づくりに誠心誠意 形を変えて進化し、

願い申し上 きご支援を賜りますようお らこれまでの数々のご協力 展を祈念し、また、 ご健勝と本会の益々のご発 からも新校に対して引き続 に感謝申し上げ、 同窓会員の皆様の益 げ挨拶といたし 更にこれ 開校か 々の かっているところを見て助 る姿や悩ましい問題にぶつ

言などさせて頂いておりま

ソングになりました。

り、比較的順調に話し合 れ以外は目的を共有してお

が進んだものと感じていま

両校の統合案が示されて

約八年間、

両校同窓

教育内容を求めて、

新しいものづくりの

をはじめ関係団体に対し積

明日を夢みで

定時制教育振興会 会長 伊 澤 和 明



さん、

のみな

こんに

早いもので二校統合から ださい。

ちは。

そしてそれが定時制のテー びました。音楽部で演奏し、 つ。 られてきました。みんな喜 制に直筆の手紙と譜面が送 んから飯田工業高校の定時 作曲家の「いずみたく」さ 四十年前になりますが、

至らず、第三者委員会に白

主張が激しく対立し結論に 名決定については、双方の 定いたしました。しかし校

紙委任となりましたが、そ

見上げてごらん、

年に向かって考えましょう。 行事が全て終えた時点で来 すが、とりあえず一年間の

徒

のみなさんに学校、

定時制教育振興会は生

ます。 を担っていると思っており いっしょに考え、進む役割 その他諸々の事を通じ、 遠慮なく相談してく

最後に楽しい思い 出を一

ろとなれない事も多いと思

五~六か月がすぎ、いろい

います。

入学式、文化祭、夏休み

一所懸命がんばってい

拠点校にふさわしい施設と 章 県教委 夫 が、十年、二十年後に統合 りでは無いかもしれません があり、平坦な道のりばか

受統合につい

同窓会 副会長 古

り、県下初の総合技術高校 ましたが、常に連携を取 結や、その後の方針転換等 で先の見えない時期があり ました。この間、 極的な働き掛けを続けてき 再編の凍

まり、それぞれの同窓会の よう統一行動をとる中で、 が魅力あふれる高校になる 合意が形成され、統合が決 双方の信頼関係がさらに深 本年四月の飯田OIDE

今後も支部統合等の課題

る様、役員全員が心を一つ すので、会員の皆様のご理 にして力を尽くして参りま して良かったとの評価され 申し上げます。 ・ご協力をよろしくお

長野県飯田OIDE長姫高等学校同窓会

同窓会長 中島五月氏 挨拶

同窓会 事務局長 Ш 文

新たに同窓会も飯田OID 長姫高等学校の開校に伴

式典と総会、祝賀会が六月 て発足しました。その設立 E長姫高等学校同窓会とし

は々木重

飯 当の岩本先生をはじめ、 ツ井慶一氏、平澤章氏、 れました。 ル 田長姫高校の元会長、 田 来賓には、 松村事務長、同窓会担 工 業高校の元会長、 山口教頭、 母校の柴田校 山岸教 旧

クホテルにおいて開催さ

日

午後四時よりシ

挨拶 学校長 柴田修身氏

会長、濱 小林保伸 地区同窓 関西地区 地区代表 島肇東海

に行われ より盛大 迎えし、 会長をお 同窓会副 0) 出席に

郎氏の力強い設立宣言、 れる中で行われ、 の披露と掲揚が新校歌が流 新たに作成された同窓会旗 ゑ子氏の経過報告、 中島五月氏の式辞、 り設立式典が行われました。 ました。 最初に林喜弘氏司会によ 宮島俊太 そして

して柴田校長先生の祝辞で

と新役員の承認が行われま 新同窓会のため新たな会則 した。第一号議案会則の承 長に選出し議事が行われま 勇龍江地区代表の二名を議 渡辺輝欣上郷支部長、 司会により行われました。 続き定期総会が井坪隆理事 式典は終了しました。 第二号議案役員の選出 (新役員別表) 清水 引き

地区同窓

萩元

平弘東海

士県議、 お迎えし祝賀会が開催され 康晴県議、 藤健飯田市副市長、古田芙 続いて会場を移し新たに佐 き総会も無事終了しました。 の柴田校長先生の祝辞を頂 月新会長のあいさつ、 も承認されました。中島五 四号議案収支予算 号議案事業計画 (小池清県議、 吉川彰一県議を (案)、 来賓 小島 第

皆さんには馴染むのでは る校歌の演奏及び演奏会用 親睦が図られました。 な雰囲気の中、 は現代風の曲で今の生徒 の三曲を聴きました。 かと思われます。 最初に母校吹奏部員によ 会員相 和 校 やか 互. な



同窓会旗の披露



吹奏楽部員による演奏

第1号議案

(名称および事務局)

長野県飯田 OIDE 長姫高等学校同窓会会則

第1条 本会は、長野県飯田 OIDE 長姫高等学校同窓会(以下「本会」という)と称し、事務 局を長野県飯田 OIDE 長姫高等学校(以下「母校」という)内に置く。

第2条 本会は、会員相互の連絡および親睦をはかり、母校の隆昌を期することを目的とする。

(田 的)

第3条

本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

2 (1) 母校生徒等への支援 講演会・研究会の開催

 $\widehat{\mathbf{3}}$

名簿および会報の発行

その他適切なる事業

第4条 级

Ξ

正会員

飯田 OIDE 長姫高等学校卒業生

旧飯田長姫高等学校同窓会員

本会の会員は、次のとおりとする

旧飯田工業高等学校同窓会員

準会員 在校生

ωε

特别会員 母校に在職する教職員

 $\widehat{\mathbb{H}}$

第5条 本会は、一定の職域または地域に在住する会員により、任意に支部を置くことができる。 0 支部には支部長を置き、本会の理事とする。

第6条

(役員

本会に次の役員を置き、任期は2ヶ年とする。但し再選を妨げない。 dk

MI 12

温 若干名 $\widehat{\mathbf{3}}$

事務局長 里 会 庚

1

2

若干名

霘 # 2名

5 4

選出基準については、別に定める。

(顧問および相談役)

第7条 本会に、顧問および相談役を置くことができる。

顧問は、学校長および本会に功労のあった者を理事会の推薦により、会長が推戴する。 尚、必要に応じ常任顧問を置くことができる。

- (役員の任務)

選出基準については、別に定める。

相談役は、本会に功労があった会員の中から理事会の推薦により、会長が推戴する。

第8条 役員の任務は、次のとおりとする。

- 会長は、本会を代表し会務を統括する
- (2) 副会長は、会長を補佐し会長事故あるときは会長の職務を代行するとともに、 員会を担当する。
- (3) 事務局長は、事務局職員を指揮し会務を処理する。
- 正副会長ならびに事務局長は、執行役員となる。
- (5) 理事は、理事会の構成員となり、事業および予算の立案ならびに本会の重要事項 について協議するとともに、委員会の構成員となり会の円滑な運営にあたる。
- (6) 監事は、本会の会務および会計を監査する。

(役員の選出)

第9条 本会の役員は、次に定めるところにより選出する。

- (1) 会長、副会長、事務局長および監事は、総会において会員の中から選出する。
- (2) 理事は、支部長および支部からの推薦者と執行役委員会の推薦する者をもってこ れに充てる。

(事務局

第10条

本会に事務局を置き、必要により事務局職員を置くことができる。

事務局職員は、事務局長の命を受けて会務を処理する。

Ŕ 퍯

第11条 本会の会議は、次のとおりとする。

- (1) 総 会 (定期·臨時総会)
- 理事会
- 執行役員会

3

- (5) 委員会(総務、財務、支部対策、名簿、会報、女性部)
- 必要に応じて特別委員会を設置することができる。

(会議の運営・任務)

これを招集する。

- 第12条 総会は、本会の最高議決機関とし、定期総会は毎年6月第1土曜日に開催し、会長が
- 総会に議長を置き、その都度会員の互選により決定する。
- 総会の議事は、出席会員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによ
- 臨時総会は、必要に応じ会長が招集する。
- 第13条 理事会は、会長・副会長・事務局長並びに理事で構成し、本会の総会に次で議決機関 として、執行役員会の求めに応じ事業および予算の立案ならびに重要事項の審議を行う。

- 会議の招集は会長が行い、議長を務める。
- 第14条 執行役員会は、会長・副会長・常任顧問並びに事務局長で構成し、本会の執行機関と して総会において決議された事項の執行にあたる。
- 会議の招集は会長が行い、議長を務める。
- 第15条 支部長会は、執行役員並びに各支部長をもって構成し、執行役員の求めに応じ会の執 行に関する事項を協議し遂行する。
- 第16条 委員会は、執行役員・理事で構成し、本会の運営を円滑に処理するため、事業の分担 に基づさその遂行にあたる。 会議の招集は会長が行い、議長を務める。
- 委員会に委員長を置き、議長を務める。
- 委員長は、執行役員会の中から会長が指名する。
- 委員会に、副委員長を置くことができる。
- 副委員長は、委員の互選により選出する。

(経費)

第17条

本会の経費は、入会金、会費、寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

会計は、一般会計と特別会計に区分する。

会計細則は、別に定める。

Ŕ

第18条 入会金、会費は、以下の金額とする。

入会金は、3,000円とし入学時に納入する。

会費は、年1,000円とし年度ごとに納入する。

第19条 会費の納入は、支部に加入している者は支部に、他の者は振り込みにより納入するも のとする。

第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(A)

第21条 この会則を変更しようとするときは、総会の承認を得なければならない。

第22条

この会則の執行についての細則は、理事会において定める

(當

4 浬

本会則は、平成25年4月1日から施行する。

第2号議案

長野県飯田 OIDE 長姫高等学校同窓会役員 平成25年度

				,				
*	*	副会長	分長	*	/	*	常任顧問	谷 픯 名
久保田 和 平	高橋元司	吉澤 章 夫	中島五月	宮 島 俊太郎	佐々木 重 光	車 素 市	三ツ井 慶 一	开
事務局長	*	理	*	*	副会長	(定時制教育振興会 会長)	副会長	役 職 名
吉川文人	松下清二	林日出登	林喜弘	今 井 正 治	林 和子	伊澤和明	長谷部 徳 治	

第3号議案

平成25年度 # 業 _ ⊒ii∫i

画

- 平成 25 年度総会及び、同窓会設立式典、祝賀会の開催
- 時場容 平成 25 年 6 月 1 日(土) 午後 4 時 式典開式 シルクホテル 飯田市錦町 1-10 同窓会設立式典・定期総会・設立祝賀会

日会内

学校支援事業

2

会報第1号の発刊

 ω

支部組織の拡大・充実の支援

<u>+</u>

会員増強に関する事業

5

執行役員会の開催及び正副会長会の開催

6.

理事会、支部長会の開催

7.

会員名簿作成·管理

9

 ∞

各委員会及び、各種会議の開催

- ホームページの立ち上げと更新、管理
- 会の目的推進に寄与する事業への補助

11.

10.

飯伊地区高校同窓会との連携

12.

母校との連携

13.

その他執行役員会で必要とした事業

14.

強のと口

型目	予 算 額	蒱	₩
1 入会金	927,000	新入生 309 人× 3,000 円	
2 維持費	8,148,000		
(1) 一般納入金	6,200,000	振込·集金	
(2) 卒業時納入金	1,948,000	卒業生 151 人× 8,000 円 148 人× 5,000 円	
3 雜収入	810,000	総会、新年理事会費	
4 繰入金	18,045,899	寄付金より	
습 화	27,930,899		

平成 25 年度 飯田 OIDE 長姫高等学校同窓会

× 算

自至 平成 25 年 4 月 1 日 平成 26 年 3 月 31 日

収入予算額 支出予算額 27,930,899円 27,930,899円

単位:円

	予 算 額	備	υĦ
1 運営費	5,175,000		
(1) 総会費	1,000,000	資料、広告、祝賀会、お礼	
(2) 会議費	600,000	役員会、理事会、支部長会、	委員会
(3) 旅 費	150,000	出張旅費	
(4) 需要役務費	1,800,000	コピー機、点検費、水道光熱費、通信費ほか	熱費、通信費ほ え
(5) 慶弔費	350,000	支部総会祝儀	
(6) 人件費	1,275,000		
2 事業費	4,936,000		
(1) 学校支援事業	310,000		
*会員歓迎費	310,000	卒業証書ホルダー	
*授業支援金	0		
*ものづくり支援金	0		
*クラブ活動助成金	0		
*競技大会褒賞金	0		
(2) 会報発行費	2,000,000	印刷代、郵送料、運賃	
(3) 名簿管理費	128,000		
(4) 手数料	1,500,000	集金手数料、払込手数料	
(5) 負担金	162,000		
(6) 支部育成費	556,000	支部設立・奨励金	
(7) 助成金費	120,000	女性部・ゴルフ会	
(8) HP 管理費	160,000		
3 記念事業費	2,000,000		
(1) ユニホーム補助	1,000,000		
(2) 開校記念式補助	800,000		
(3) 設立式等初期費用	200,000		
4 積立金	10,858,347		
5 予備費	4,961,552		

25年度積立金

	10,858,347	파	□⊳
八十二銀行八幡支店 No.40266	1,729,717	*	7
" No.84511	2,000,000	*	6
" No.20860	2,027,044	*	5
" No.20850	505,737	*	4
" No.20830	4,055,836	*	ω
" No.20820	265,737	*	2
飯田信用金庫名古熊支店 No.20810	274,276	定期預金	1
摘要	金 額	科目	番号
単位:円			

	ИÞ	将回米	樤HE	飯田			Ыį	粉	回	旃	加	H	震			
ΠĴ				1	10	9	∞	近	7	6	51	4	ω	2	1	番
팩	普通預金計	-	1 の内	*	*	*	普通預金	定期預金計	*	*	*	*	*	*	定期預金	ш *
18,045,899	7,187,552	0.10,000	849 000	2,247,537	588,494	3,908,569	442,952	10,858,347	1,729,717	2,000,000	2,027,044	505,737	4,055,836	265,737	274,276	金額
		% h24 405,000	維持会費前納金 h23 444,000	八十二銀行飯田支店 No.174418	八十二銀行飯田支店 No.15021	八十二銀行飯田支店 No.199582	飯田信用金庫名古熊支店 No.10627		八十二銀行八幡支店 No.40266	° No.84511	» No.20860	» No.20850	v No.20830	» No.20820	飯田信用金庫名古熊支店 No.20810	遊

付金明細

쌔

平成 25 年 3 月 31 日現在 単位:円

回ゴ

ルフコンペ」

を六月五日高

同窓会統合後、

初となる「第

カントリークラブで開催した。

青

松

中

中

小

中

中

木

戸

塚

本

加

大

寺

後

前

西

細

古

参加者氏名

善

功

啓

光

五

正

正

恭

忠

武

静

文

英

丹

俊

光

寿

治

清

成

春

月

明

人

典

利

司

夫

雄

仁

攻

彦

彦

山

枝

塚

垣

Ш

島

島

下

谷

田

田

藤

嶋

澤

田

野

田

田

藤

小木曽

NET

69.8

70.8

71.2

72.4

72.6

72.8

73

73.4

73.4

73.6

73.6

73.6

74.2

74.4

74.4

74.4

74.6

74.6

74.8

74.8

順位

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16 17

18

19

20

(各区より1名を選出

第1回 飯田 OIDE 長姫高校同窓会ゴルフコンへ

夫 加 藤 ゴルフ会 会長

ながらも、 内外からの参加も有り、 な組み合わせで回り、 女会員が参加した。 あったが、組織も一部手直しをし 会ゴルフコンペを統合した形で 職場、 フ日和に恵まれ、 統合前実施していた両校の同窓 .地区内の組、 元の方が中心であったが、 教員も加わり、 舌戦を交え腕を競 同じクラス、 約七十人の男 旧交を温 絶好のゴ さまざま 同 県

後初の親睦事業が、和気あいあい 中島同窓会長は祝辞の中で「統合 あった。 内に成功りに実施出来た事は 競技終了後の表彰式と懇親会で

> ベストグロスとネット69・8で優 果、高森町の青山善治さんが77で の会話も会場内で囁かれていた。 支部毎の統合のはずみになればと 意義深い」と述べられ、今後の各 新ペリヤ方式で優勝を争った結



勝も獲得した。 は、 に向けて三回の準備会を重 同窓会を発足させました。 の全員に声を掛け、当日、 新校同窓会で第一号の統 十九名の参加を得て発足 一月の早い時期から統

副

飯田OIDE長姫高校同窓会上久堅支部

を深めることとしました。 を和やかに会が進み、今後 お前は長姫だったのか お前は工業だったのか マレット大会等で親睦

事 務局 1 名

長谷部徳治

飯工

(新役員)

| 久堅統合支部発

上久堅では、

四月十三日

平澤俊彦 (長姫)

支部長 長沼和宏 1 名 (長姫)

地区内同窓生一九八名

相談役 若干名

支部長 松枝義勇 長沼孜磨雄 若干名 清 (飯工) (長姫) (飯工)

監 理 会 計 事 事 近藤文夫 小倉昭治 小笠原禮子 若干名 2 名 1 名 (長姫) (長姫 飯工

生徒会の目 標

全日制生徒会長 豊



四月か 新 L

した。 掲げ、 テーマを「start」と としても二十五年度生徒会 長姫高校」となり、 一歩を踏み出しま O I D E 生徒会 「飯田

して、 せていけるよう願っていま たに地域に愛され歴史を残 います。 知ってもらいたいと考えて 方々に学校の生活や活動を 通して飯田の方々、 した。そして、この活動を 考え、今まで活動してきま 上げていくことが大切だと 台・基盤をしっかりと作り 私 は、 まずこの学校の土 又 新校 新校として新 の第一 周辺の 期と

戦した文化祭でした。

ながらも新しいことにも挑 飯田長姫の伝統を引き継ぎ

桜姫祭」は飯田工業と

生 徒 会

の

目標

松村 一全日制生徒会長 輝



て初の文 統合し

じています。 終わり、 持ち始めたということを感 資格の取得に向け緊張感を た。三年生は進路に向け、 雰囲気も落ち着いてきまし |・二年生は部活の大会や 盛り上 がっていた

ります。これからも生徒が さまのおかげだと思ってお 保護者の方々、 とができたのは、先生方や お願いいたします。 よう、お力添えをよろしく 充実した学校生活を送れる 桜姫祭」を成功させるこ 準備時間が少ない中で、 同窓会の皆

は、

全校生徒がより過ごし

そして、最大行事である文

『第一回桜姫祭』には

実に成し遂げてきました。

迎会・総会・球技大会と着

かりまとまり、発足式・

安をよそに、

生徒達はし



生徒会、

化祭「桜

姫祭」が

原夢と東

会長の蕎

生徒会顧問

島

万

亀

夫

度は統合 す。今年 して一年 原文弥で

しました。 会長二名でスタート致 目ですの

と思っています。 うような事をしていきたい は、 るような土台を作る、とい ます生徒会を充実させられ 事を盛り上げる。そして最 て生徒会活動に参加し、行 良くする。次に皆で率先し なれるように生徒同士で仲 後に、来年度へ向けてます 今年度の生徒会の目 皆様方におかれまして 新しい学校の雰囲気に 標

年目のスタート 東原文 定時制 弥 夢 げます。

一徒会活動

の持てない中での活動でし げるため活動してきまし な学校の生徒会をつくりあ 役員生徒を中心に、 月が経ちました。この 姫高校生徒会が発足し四 た。しかし、 伝統を引き継ぎつつ、 マのもと、 回ということで、 \overline{S}_{t} さらに全ての行事が第 学校規模が約二倍にな a r 飯田OIDE t』というテー 我々職員の不 両校の 見通

援をよろしくお願い申し上 行えるように温かく見守っ やすい環境で授業や部活 て頂きたく存じます。ご支

介

来校して頂き、 度に引き継がせたいと思い ります。それぞれの行事の ことができました。今年度 総括をきちんと行い、 活動が伝統の第一歩にな 成功させる

全日制

問題がありますが、それぞ が増え活動場所の不足等の ました。統合により部員数 を頂き大変有り難うござい を紹介します。 信越大会に進出したクラブ いと思います。最後に、北 の練習を充実させていきた もOIDE長姫の校名が各 ることができました。 れ活発に活動し成果を上げ よりユニフォーム代の支援 方面で聞かれるよう、 クラブ活動では、 同窓会 日々

男子バレー 部

陸上部 柔道部

ソフトテニス部

商業研究部は、

卓球部 空手部

水泳部 商業研究部

プロ競技と簿記競技で全国

K V

2クラス

一千人以上の地域の皆様に

戦

大会に出場します。

績

北信越大会出場クラブ 男子バレー部

卓球部 空手部

ソフトテニス部 柔道

陸上部

部

水泳部 建築研究部 商業研究部 電気部

全国大会出場クラブ 商業研究部

原動機部

★原動機部の全国大会成 エコハイクラス 充電池部門 カーレース総合大会」 第11回高等学校工 1 位 位

SUZUKA

高校生部門で優勝

KV=40 チャレンジ全国大会」

G P 2 0 1 3 40チャレンジ全国大 S U Z U K E n e

FEne_IGP

K V 1クラス 総合4位 高校部門1位

原動機部

●定時制

北信越大会出場クラブ • 女子バドミントン部

73

全国大会出場クラブ

) 剣道部

女子バドミントン部

キット開催の全国大会で 優勝しました。 原 動 機部 が ?鈴鹿 サー

高校部門1位 総合1位

を競う「Ene-1GP とする車両で、サーキッ トを3周して合計タイム 式単3電池40本を動力源 S U Z U K A K V 8月4日 (日)、 充電

40チャレンジ全国大会

increased AINE assessmit



は2台出場し、重量制限 参加しました。 高校など全国から77台が が開催され、 いクラスでは高校 続き優勝、 般を含めた総合で昨年に 35㎏以上のクラスでは 重量制限 本校から 般、 生 のな 大学、

で優勝しました。































課程・学科・別別生徒数

学科	小 学 科		1年			2年			3年			合計	
J 11	工業科の()は1学年	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
	機械科 (機械工学)	40	1	41	40	0	40	39	1	40	119	2	121
	電子機械科(電子機械工学)	37	2	39	39	1	40	36	2	38	112	5	117
 工業科	電気科 (電気電子工学)	40	0	40	37	2	39	39	0	39	116	2	118
上来 作 	土木科 (社会基盤工学)	38	1	39	41	0	41	35	4	39	114	5	119
	建築科(建築学)	30	5	35	19	13	32	29	7	36	78	25	103
	工業科合計	185	9	194	176	16	192	178	14	192	539	39	578
	商業科1 (F)	7	30	37	8	30	38	11	26	37	26	86	112
商業科	商業科2(G)	6	30	36	8	30	38	11	28	39	25	88	113
	商業科合計	13	60	73	16	60	76	22	54	76	51	174	225
	숨 計	198	69	267	192	76	268	200	68	268	590	213	803

()內休学者

学科	小 学 科		1年			2年			3年			4年			合計	
J 111	()は1学年	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
普通科		12 (2)	23 (3)	35 (5)	10 (1)	8	18 (1)	14	10	24	12	10	22	48	51	99 (6)
工業科	機械科 (基礎工学)	13	0	13	13	0	13	24	0	24	9	0	9	59	0	59
2	計	25 (2)	23 (3)	48 (5)	23 (1)	8	31 (1)	38	10	48	21	10	31	107	51	158 (6)

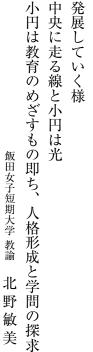
男	女	計
697 (3)	264 (3)	961 (6)

- 二つのものが一緒になる様
- 一つの円が重なろうとしている瞬間 つの円は工業の学校目標O Ĭ D E

0)

もう一

- 斜めの配置はこの二つの円が重なって未来に向かっ つは長姫の頭文字の $\overline{\mathbb{O}}$
- 中央に走る線と小円は光 発展していく様





以にあたり 寄付金を贈

別寄付をしました。 新校開校にあたり同窓会では、 母校に180万円の 特

部として100万円。 内訳は、生徒会の依頼を受けてユニフォ く代金の

窓会長より校長先生に手渡され 念補助として80万円です。 カー設置費の一部に対し開校記 六月十九日校長室において同 校章バッチ、 体育館スピー

ムでの活躍を期待します。 校名変更による新ユニフォ

飯田 OIDE 長姫高等学校校歌

虹の道標





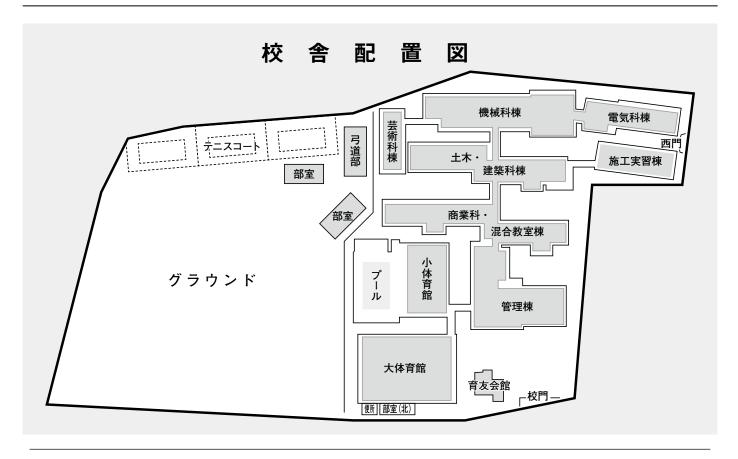


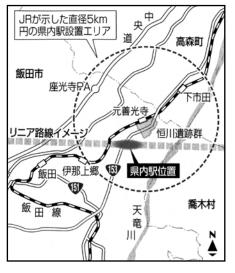


「虹の道標」

- 1. 心に一粒の種 大切に育てていこう 涙はうるおいの雨 小さな。蕾は やがて花になる どんな未来を 咲かせられるか それは太陽に向かい 伸び立つ向目葵 ※あの空に 虹を架けよう 心に虹を 架けよう 明日照らす道標 強く歩き出す
- 2. 折れることのない翼 向かい風の中を行こう 太陽曽指し伸ばす腕 扇 を開ければ 光が差し込む できみ 瞳の奥に あふれる未来 いつの日か胸を張って 舞い立つ 天の龍 あの宇宙の彼方駆けよう 夢の欠片を集めて 明日描く道標 がむしゃらに進め

※繰り返し





として飯田市 付近から下伊那郡高 県内駅 Ŕ 東海は の位置案 |座光寺 11 年8

市

なっ る上郷 正。 定を申 がったため、 J 153号の上を通る位置 J R R 駅部は座光寺に隣接 0) 飯沼にかかり、 当初

信濃毎日新聞の取材に 県双方の関係者は 備書の 準 公

辺の

駅

やアセ 表に関 述べ、 ない 生じて ぐる水面 位置をめ て問 -の調 調 題 査 駅 لح は 11

車場など になる。 は地 広場や ニア すること 政が 田 県 乗 駅と ij 線と 内 元行

が取得す の建設費 たり J 全線に 負担 は J R る 予 する

玉

道

た。 ロメ 森町 置するかが焦点となって ける形で駅と路線をどう配 川遺跡群があり、 力候補だった座光寺には ートルの円を提示。 下市田を含む直径5 これを避 有 恒

どが

順調に進んだことを明

かにした。

の位置を遺跡郡の南側に修 める市側の意向に沿い路線 同遺跡郡の 教育委員会は今年7月 午請。 遺跡郡 想定よりも広 完全回避を求 部の 国史跡指 0) 範囲 す が 部

0) 地 線と二 外の 幅は: 用地と地 上に高架で設 ・ルとなって 路線幅 約 メ 9 50 1 上 0) メ 卜 区間 ル は 1 ホ を含む 11 地 け 分 1] る。 の路 で約 ル。 る駅 上 A が 区 駅 14 間 駅あ 線

22 メ 部以 は 4 部両脇4 Î ŀ 標準的な高架部 1 駅 1 ル 程 度 0 甪 地 は、

えを考慮し、



置する構想の調整も本格化)説明会を沿線市町村の複 民らを対象とする準備書 那上郷駅の間に新駅を設 JRは公表後 活発化しそうだ あり方の論議が アクセス交通の だまちづくりや 済界を巻き込ん でも県や関係自 住民、

する見通し。

維持会費納入のお願い

同窓会費の納入についてご協力いただき感謝申し上げます。

今年度より飯田工業高等学校と飯田長姫高等学校の統合により、同窓 会も統合し新しく発足しました。維持会費につきましては例年どおり年 間 1,000 円をお願いすることになっております。この会費は母校の授 業支援・クラブ活動支援をするための助成金・会員相互の親睦・会報の 発行等に使用させていただいております。個々に会報を送付している会 員の皆様には到着後早期にご送金をお願いいたします。

各支部においては会報を届けていただいて集金をお願いいたします。 なお、本年度より満80歳以上の会員の皆様は会費が免除となります。

同窓会ホームペーダアドレス

同窓会の統合によりホームページも新しく「飯田 OIDE 長姫高等学校同窓会」となりました。 アドレスは下記のとおりです。

> ◆ 飯田 OIDE 長姫高等学校同窓会ホームページアドレス http://iida-oide-osahime-reunion.com TEL&FAX 0265 - 52 - 2255

> > い歴史を築く歩みを始 故の気持ちとともに、

 \emptyset

私たちは、

それぞれ

0

新

道標」が創刊の運びとな

てて行こう』と謳わ

7

粒の種。 校歌の

大切に

育 は

節

に

大輪を咲かすまで。 切に育てていきたいと思 会員の皆様のご協 !窓会報という一 会報「虹の道標」 会員共通 0 心 を育 粒 力 をし

K

平成26年度

定期総会予告

*多数の同窓生のご出席をお待ちしてお 飯伊地区は地元新聞広告、 ホームページでもお知らせ致します。 詳細は追って通知

平成二十六年六月七日 午後三時より ●講演・ 全国

> 題字 虹 1 道

同窓会報第一号発刊に当り、会報委員会で検討し役 員会の了解を得て、母校校歌のタイトル 巌 (嶽仙) 天竜村村長 氏に揮毫いただきました。 (長姫高 第5回卒

を会報の題字とすることになりました。 記念すべき同窓会報 校同窓会が発足し、 飯田OIDE長姫高等 「虹の道標 併せ て